

行きます。聞きます。提案します

～商工会の支援事例～ ①

製造業の現場改善支援 (有)大窪鉄工：宝達志水町商工会

※「探訪チャレンジ企業」は、前号で一旦お休みとし、今号からは、商工会の支援事例を掲載します。



大窪社長(中央)、昌次専務(左)、
俊次工場長(右)

主要取引先からの信頼も厚く順調に業績を伸ばしてきたが、リーマンショックの影響を受け受注が減少したため、商工会に相談がありました。

専門家の支援も受け、経営改善計画を策定。その後、商工会では、事業所とともに抜本的な問題解決に取り組むため、計画実行のフォローアップをスタートさせた。

品質管理体制の強化と生産性の向上が課題

特定取引先への依存度が高く、急激な外部環境変化の影響を受けやすい経営体質であることから、リスク分散のためには、新規取引先の開拓が急務であった。今後、新規の取引をしていくためには、各製造工程の管理方法を定めた帳票がなかったため、品質管理体制を整備する必要がある。

また、工場内では材料、工具などの置場が決まっていなかったため、従業員の無駄な作業もあり、生産性向上の取組が必要である。



現場の整理に使用した赤札。不要と思われる物に貼付する

赤札作戦を実施

専門家として中小企業診断士の西井克己氏にお願いし、生産性向上のため現場改善に取り組んだ。

まず、品質を保証するため、仕入から出荷までの各工程での管理特性や管理方法を工程の流れに沿って記載したQC工程表を作成。これにより、製品の品質を一定に保ち、ロスを減少させていく仕組みができた。

次に、作業効率を高めるため5S活動に着手した。5Sとは、整理、整頓、清潔、清掃、躰のことである。従業員が自ら考え行動する組織を目指していくため、リーダーを選任し、目的、アクションプランも従業員自らが策定した。

5Sの基本は整理整頓である。不要な物と必要な物を仕分けし、必要な物だけを整理する方法が効率的であるため、捨てるものに赤札を貼る赤札作戦を実施。現場改善後には、通路が確保され、工具、備品の定置管理も

進められ、工場だけでなく事務所内も整理整頓された。図面についてもデータ化して保存することとした。

特定取引先への過度な依存体質が改善

活動の成果として、端材の活用や月次での棚卸が可能になった。現在でも、毎日午後の始業開始時に三分間5Sを実施し、業務後の清掃を徹底している。

一方、生産性を向上させるためにレーザー加工機を導入し、営業を強化した結果、取引先も増え、業種も多様化したことにより、特定先への過度な取引依存体質が改善された。



レーザー加工機導入により生産性が向上

更なる品質向上でチャージ料アップを目指す

大窪専務は、「5S活動の定着と従業員の育成を図っていきます。将来的には、大手メーカーの品質監査に対応できる工場を目指し、チャージ料を高めていきたいです」と話す。

担当職員から一言

今回、経営改善計画のフォローアップを行う過程で、事業所との信頼関係を構築し、共通認識のもと課題に優先順位をつけながら段階的に解決に取り組みました。支援を通して、計画の策定、実行、見直しを実践したことで経営のPDCA(Plan・計画、Do・実行、Check・評価、Act・改善)サイクルを回していくことの重要性を理解いただけたと思います。

計画実行の先頭に立つ大窪専務の「会社を良くしたい」という思いを強く感じ、私としては客観的な提案をするよう心掛け、あえて厳しい意見も言わせていただきました。

事業承継もそろそろ視野に入ってくると思いますが、これからも、伴走者としてより添っていきたいと思います。

支援担当者・執筆
宝達志水町商工会

経営指導員 今西 真

(有)大窪鉄工
千九二九-1-30四

羽咋郡宝達志水町南吉田

チ三九一

TEL〇七六七(二八)八二〇〇

今西指導員の行った、(有)大窪鉄工様への支援は、平成二十七年の石川県商工会優秀支援事例の最優秀賞を受賞しました。